

中国の文化Ⅸ 第12回

北宋時代(上)

科挙制度と“負心”文学の誕生

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280
晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-



中国が北宋時代だったころ、
日本は何時代？

中国大陸



朝鮮半島



日本列島



科挙制度と「負心」 文学の誕生

唐宋変革期を経て、中国社会は貴族の時代から庶民の時代へと姿を変えていく。

科挙は、身分や家柄に関係なく、誰もが官吏となって政治に参画し、富と栄誉を得る機会を保障した。その結果、中国では社会階層の流動性が高まり、教育が普及していった。

文学の主体も貴族から庶民へと移る。韻文での詞の隆盛とともに、宋代には本格的な演劇が登場する。しかしその草創期の題材となったのは、科挙に合格した男たちの裏切りを描いた「負心」物語であった。

講義内容

第一節 北宋——庶民時代の到来

第二節 科挙と文人官僚——柔構造の封建社会

第三節 “負心”文学の誕生
——科挙制度と礼教制度が生んだ悲劇



第一節

北宋

庶民時代の到来

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC		
周 1046BC-771BC		
春秋戦国時代 770BC-221BC		
秦 221BC-207BC		
漢 206BC-220AD		
魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
晋 265-316		
五胡十六国時代		東晋 317-420
北朝 439-589		南朝 420-589
隋 581-619		
唐 618-907		
五代十国 907-960		
遼	北宋 960-1127	
金 1115-1234	南宋 1127-1279	
元 1271-1368		
明 1368-1644		
清 1616-1912		
中華民国 1912-1949		
中華人民共和國 1949-		



五代十国時代
(907-960)

唐宋変革期

唐代以前—門閥貴族が政治の実権を握る

五代十国時代—武人が台頭し、門閥貴族が没落

宋代以降—文人官僚に支えられた皇帝の
独裁体制が確立

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

科挙出身の文人官僚の時代へ

名門貴族らが実権を握る門閥貴族の時代

武人支配の時代

科挙によって選抜された文人官僚の時代

中国大陸

朝鮮半島

日本列島

東アジアの科挙制度と文官統制



後醍醐天皇と建武の新政

日本でも他のアジアの国々に倣い、文官統制をめざす試みは行われた。後醍醐天皇は、鎌倉の武家政権を倒した後、中国の皇帝専制に倣って天皇による親政をめざした。

しかし中国の皇帝専制を支えていた科挙による人材登用の制度が築かれていなかったため、武士らの離反に遭い、新政は失敗に終わった。

*図版は重要文化財「絹本着色後醍醐天皇御像」

(神奈川県藤沢市遊行寺(ゆぎょうじ)蔵)

後醍醐天皇 (1288—1339)





第二節

科挙と文人官僚

柔構造の封建制度の完成

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

隋はこの制度を始めたのか？
が南朝陳を滅ぼし、天下を統一
する直前の五八七年だが、なぜ
科挙制度が始まったのは、隋





科挙制度

北方の遊牧民にルーツを持つ北朝から興った隋王朝は、南朝の漢族社会に根を張る門閥貴族の影響力を排除するため、五八二年、門閥貴族に有利な「九品官人法」（三国時代の魏に始まる官吏登用法）を廃止した。

そして五八七年、これに代わる官吏登用法として、民族や身分、家柄に関係ない実力本位の試験制度である「科挙」を始めた。

隋・唐代には、門閥貴族と科挙出身者の勢力は拮抗していたが、五代十国時代の武人支配によって門閥貴族が没落すると、科挙出身者が官職を独占し、政治の実権を握るようになった。

庶民に開かれた官僚への道

〔解説〕

科挙制度は名もない庶民にも立身出世の機会を与えた。

南宋時代、鄱陽（江西省波陽）の一農家に過ぎなかった洪一族は、科挙を通じて洪皓やその子适・遵・邁ら多くの文人官僚を輩出した。

洪适は一族繁栄の歴史を次のように伝えている。

洪氏家系図



鄱陽(江西省鄱陽)

庶民に開かれた官僚への道

わが洪一族はもともと徽州①に住んでいたが、唐末の戦乱を避け、楽平の東七十里にある巖前あるいは洪源という地に移り住んだ。戸数は百戸余り。代々農業を生業としていた。

盤洲老人小伝(南宋)洪适盤洲文集卷三三所収

【解説】

①徽州：安徽省歙（しやう）県

善士夫呻其佔畢而行如市人吾黨之取也今編列民不知遜畔折券之說爭錐刀之末以投鉅為能至不幸有沸鼎之謗諸君當以所聞於師者為其郷一洗之

盤洲老人小傳

盤洲老人洪景伯名某初名造字温伯亦字景温饒州人高祖行第八妣章氏夫人曾祖考少保妣何氏紀國夫人祖考太師秦國公妣董氏秦國夫人考徽

盤洲文集卷三十三

五

四

猷閣直學士兼直學士院贈太師魏國公謚忠宣妣沈氏魏國夫人洪族本居徽州唐末避亂徙樂平之

東七十里曰巖前曰洪源凡百餘家世世業耕桑高祖志操不群力教二孫欲振起門戶自巖前常以幹至郡去郡四十里曰滄港舟過之愛其水朝山遠可卜宅兆於是每歸必以魚鹽遺主人雷氏歲久浸熟秋成則買穀百許斛分寄諸家嘗置酒聚其族曰誠慙歲以穀相溷欲謀數文地自作倉以貯可乎皆曰諾獨一叟持不可或言叟性木彊不可回唯婦言是畏因餌嫗雙縑嫗譙其夫曰洪八翁仕來吾里如骨

洪家家系图



徽州(安徽省歙县)

鄱陽(江西省鄱陽)

庶民に開かれた官僚への道

(曾祖父・洪士良のとき) 祖父(子
中大夫・炳)が若くしてこの世を去
り、幼い二人の孫が残された。

曾祖父は悲嘆に暮れたが、二人の
孫が独り立ちできるようと町へ連
れて行き、優秀な先生を探して教育
を受けさせた。

先君述(南宋)洪适盤洲文集卷七四所収

盡息紀愛其出隆於已生叔妹娣姒細麤柔剛不同
一切得其歡心中外語婦德之最必以為法即世五
年先君始還以不見為戚故終不忍復娶洪氏始居
樂平之金山自曾祖府君種德重義以氣節聞子中
大夫蚤世二孫幼府君慨然思所以成立計即挈諸
城中訪先生之賢力教之因占籍鄱陽長孫諱彥昇
起家遂給事中太中雖不遇至先君益顯八男子适
左奉議郎主管台州崇道觀遵左朝奉郎秘書省正
字兼權中書舍人邁左宣教郎通州袁州逖右宣義
郎徽州婺源縣丞遜右承務郎僉書連州判官事邈

洪氏家系圖



鄱陽(江西省鄱陽)

庶民に開かれた官僚への道

元豊乙丑年（一〇八五年）、祖父の兄
洪彦昇が初めて進士となり、家運を
興した。

三十年後の政和乙未年（一一一五年）、
父・洪皓（忠宣公）がこれに続き、二十
七年後の紹興壬戌年（一一四二年）、
私と弟の邁が博学宏詞科に合格。三
年後の乙丑年（一一四五年）、弟の邁も
これに続いた。

盤洲老人小伝（南宋）洪适盤洲文集卷三三所収

肉求一片地奈何不與叟即呼人書畀相授高祖疾
革命家人曰葬我必於滄港倉下後世青紫當不絕
後十六年當元豊乙丑伯祖給事中始以進士起家
又三十年政和乙未忠宣公繼之又二十七年紹興
壬戌某同元弟邁中博學宏詞科後三年乙丑仲弟
邁繼之給事之後官者七今一人存忠宣之弟姪官
者九今兩人存子孫曾孫官者二十六今二十二入
存皆高門澤也忠宣在南荒常歎曰秦氏置我死地
曾祖潛德燾後慈章無因齎恨泉下矣某旣點西府
納所當轉官勾高祖卹典且奏臣下延恩雖極三世

洪氏家系圖



鄱陽(江西省鄱陽)

庶民に開かれた官僚への道

祖父の兄・洪彦昇(給事)の子孫で官途に就いた者は七人、いまでも一人が存命である。洪皓(忠宣)の甥で官途に就いた者は九人、いまでも二人が存命である。

子孫で官となった者は二十六人、いまでも二十二人が存命で、いずれも一門を繁栄させている。

盤洲老人小伝 (南宋)洪适盤洲文集卷三三所収

肉求一片地奈何不與叟即呼人書畀分相授高祖疾革命家人曰葬我必於滄港倉下後世青紫當不絕後十六年當元豐乙丑伯祖給事中始以進士起家又三十年政和乙未忠宣公繼之又二十七年紹興壬戌某同元弟遵中博學宏詞科後三年乙丑仲弟邁繼之給事之後官者七今一人存忠宣之弟姪官者九今兩人存子孫曾孫官者二十六今二十二

存皆高門澤也忠宣在南荒常歎曰秦氏置我死地曾祖潛德燾後慈章無因齎恨泉下矣某旣點西府納所當轉官勾高祖卹典且奏臣下延恩雖極三世

科擧の功罪～功

均分相続制

科擧制度

機会均等

流動性の高い社会

教育の普及

身分制度のない
柔構造の封建社会



マテオ・リツチ（一五五二～一六一〇）

〔解説〕

イタリア生まれのイエズス会士。
ローマ学院で数学、天文学を学んだ
後、東方伝道を志し、一五八二年に
澳門に到着した。

優れた語学力と科学知識によって
高い評価を得た彼は、一六〇一年、
北京で明の万曆帝に拝謁し、北京在
住の許可を得て、明末におけるキリ
スト教布教の先駆者となった。

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265

蜀 221-263

呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

門閥貴族の時代

武人支配の時代

文人官僚の時代

マテオ・リッチが訪中(1582~1610年)

マテオ・リツチ(一五五二〜一六一〇)

〔解説〕

優れた語学力で中国の思想や宗教にも精通した彼は、キリスト教の教理問答集『天主実義』を著した。

またローマ学院で学んだ数学の知識を生かし、中国の科学者・徐光啓とともにユークリッドの『原論』を翻訳出版した(『幾何原本』)。

そんな彼は、イエズス会への報告書や書簡の中で、中国の政治制度と科挙について次のように記している。

幾何原本第一卷

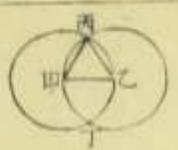
本篇論三角形 計四十八題

泰西利瑪竇口譯

吳淞徐光啓筆受

第一題

于有界直線上求立平邊三角形



法曰甲乙直線上求立平邊三角形先以甲爲心乙爲界作丙乙丁圓次以乙爲心甲爲界作

丙甲丁圓兩圓相交于丙于丁末自甲至丙丙

至乙各作直線即甲乙丙爲平邊三角形

論曰以甲爲心至圓之界其甲乙線與甲丙甲丁線等



ヨーロッパの宣教師が見た科挙

「四書五経の中で述べられている道徳説はなかなか立派なもので、歴代の王の定めにより中国の士大夫はこの書物を知識の根本としている。

この道徳学の学位は世間でももつとも尊ばれる学位(科挙の合格者に与えられる進士などの称号—引用者)で、それを授与された者が国政にたずさわる。」



ヨーロッパの宣教師が見た科挙

「この国は一人の王によって統治され、王位は世襲されています。」

しかし、それ以外の点では君主政体というよりも、むしろ共和政体*だと思えます。国王の親族は遠縁に至る者まで国政上の職務につくことはできません。」

マテオ・リッチ書簡（一五九七年九月九日）

*身分制度なき封建社会



ヨーロッパの宣教師が見た科擧

「国政はすべて文官の手中にありま
す。」

文官ははじめは小さな職について
いますが、四年か五年に一度、業績
に応じて昇進します。時には位を下
げられることも官職から追われるこ
ともあります。この昇進には九段階
があります。」

マテオ・リッツチ書簡(一五九七年九月九日)



ヨーロッパの宣教師が見た科擧

「軍の指揮官にも九階級ありますが、彼らはみな文官に服従*することになっていきます。」

このため文官の第七等や第八等の位の者の方が、軍人の第一等の位の者より世間から尊敬を受けています。」

マテオ・リッチ書簡(一五九七年九月九日)

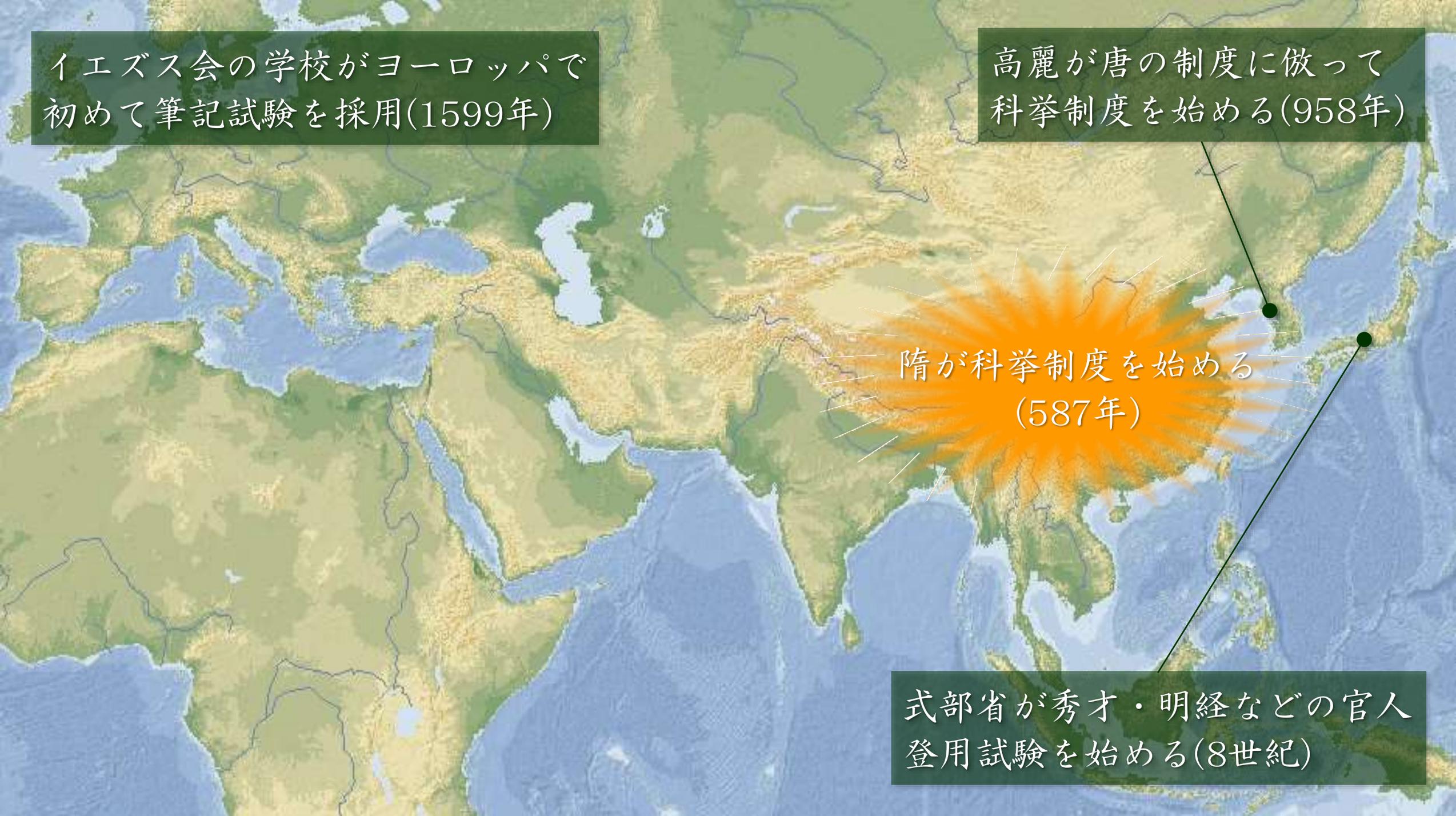
*文官統制……軍事力を持つ武官の専横を防ぐため、文官が武官を統率する制度

イエズス会の学校がヨーロッパで初めて筆記試験を採用(1599年)

高麗が唐の制度に倣って科挙制度を始める(958年)

隋が科挙制度を始める(587年)

式部省が秀才・明経などの官人登用試験を始める(8世紀)



科挙の功罪～罪

四書五経

科挙制度

一極集中

不毛な丸暗記教育 過度の受験競争

近代科学の発達の遅れと
受験地獄

受験競争の始まり

一九六八年にリリースされ、累計で九〇万枚の大ヒットとなった高石友也（一九四一〜）のフォークソング。

戦後のベビーブームで大学受験者数が急増し、「受験地獄」と呼ばれた時代の受験生の心情を歌っている。



科挙制度はいつまで続いたのか？

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

隋の文帝が科挙制度を始める(587年)

武人支配の時代

文人官僚の時代

最後の科挙を実施(1904年、翌05年廃止)



科挙の悲劇を描いた文学

〔解説〕

中国近代を代表する作家・魯迅は一九一九年、雑誌『新青年』に「孔乙己」という短編小説を発表した。

科挙の予備試験にも合格できなかった一人の没落知識人の哀れな末路を描いた作品である。

この作品には、実在のモデルがいたことを、魯迅の弟・周作人がその著の中に記している。



程十發「孔乙己鏡心」（一九五六年画）

実在した「孔乙己」のモデル

（この小説の主人公・孔乙己は）本
当の姓を孟という。みんな孟夫子と
呼んでいたので、本名はわからない。

（中略）

彼は貧しさのあまり、書坊に入っ
て物を盗み、人に見つかったとき、
「窃書は偷にあらず」と強弁したが、
これはみな実際にあつたことである。

周作人『魯迅小説裏的人物』上海出版公司、一九五四年

第三節

“負心”文学の誕生

科挙制度と礼教制度が生んだ悲劇

科擧の功罪～もう一つの罪

儒教倫理

科擧制度

受験制限

礼教制度

男尊女卑

裏切りと復讐を主題とする
“負心”文学の隆盛

“負心”文学の隆盛

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265

蜀 221-263

呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

門閥貴族の時代

武人支配の時代

演劇の誕生とともに“負心”ものが盛んに上演される

文人官僚の時代

演劇の誕生と負心文学

〔解説〕

十二世紀の末、中国の江南で南戲と呼ばれる本格的な演劇が誕生した。

明の徐渭の『南詞叙録』によれば、この草創期の演劇では、科挙によって富と地位を得た男が、不遇な時代を支えてくれた女性を裏切るといふ「負心」をテーマとした作品が盛んに上演されていたという。



南詞叙録

演劇の誕生と負心文学

南戲は北宋の光宗時代(西暦一一九〇〜九四年)に始まった。

永嘉(浙江省温州)の人が作った『趙貞女』、『王魁』の二種がその最初のものである。

(明)徐渭『南詞叙録』叙文



永嘉(浙江省温州)

演劇の誕生と負心文学

『趙貞女蔡二郎』は、蔡伯喈が親を捨て、妻を裏切り、雷に打たれて死んだという旧作である。民間の虚妄の作だが、戯文の最初の作品である。

『王魁負桂英』は、王魁、名は俊民、状元(科挙の首席合格者)になった(実在の)人物だが、これも民間の虚妄の作である。

(明)徐渭『南詞叙録』宋元旧篇



南詞叙録

王魁負桂英(王魁、桂英を裏切る)

〔解説〕

南戯『王魁負桂英』の素材となつた話は、南宋の張邦基が先秦から宋代までの女性の逸事三十二篇を集めた『侍兒小名録拾遺』に「桂英」の名で記録されている。

爲戒行具足無所誘掖也夫何一日下山於道傍見一美人號紅蓮一瞬而動遂與合歡至明僧起沐浴與婦人俱化

桂英

王魁遇桂英於萊州北市深巷桂英酌酒求詩於魁魁時下第桂英曰君但爲學四時所須我爲辦之由是魁朝去暮來踰年有詔求賢桂爲辦西遊之用將行往州北望海神廟盟曰吾與桂英誓不相負若生

侍兒小名録

張

四

離異神當殛之魁後唱第爲天下第一魁父約崔氏爲親授徐州僉判桂英不之知乃喜曰徐去此不遠當使人迎我矣遣僕持書魁方坐廳決事大怒叱書不受桂英曰魁負我如此當以死報之揮刀自刎魁在南都試院有人自燭下出乃桂英也魁曰汝固無恙乎桂英曰君輕恩薄義負誓渝盟使我至此魁曰我之罪也爲汝飯僧誦佛書多焚紙錢捨我可乎桂英曰得君之命卽止不知其他後魁竟死

英媛

王魁負桂英(王魁、桂英を裏切る)

王魁は、萊州北市の廓町で(妓女の桂英と)出会った。王魁は当時、科挙の試験に失敗したばかりだった。

桂英から「あなたは受験勉強に励んでください。暮らしに必要なものは私が用意しますから」と励まされた王魁は、毎晩彼女のもとに通い続けた。

(宋)張邦基『侍見小名録拾遺』所引『撫遺』

王魁負桂英(王魁、桂英を裏切る)

翌年、再び科擧の詔があり、桂英は王魁のために旅の支度をした。出発の時、二人は州の北にある海神廟へ行き、こう誓いを立てた。

「私と桂英は決して互いを裏切るようなことはいたしません。もしこの世で相手を捨てるようなことがあれば、神よ、天罰を与えたまえ」と。

(宋)張邦基『侍見小名録拾遺』所引『撫遺』



莆仙戲「王魁与桂英」

王魁負桂英(王魁、桂英を裏切る)
ところが、科挙に首席で合格した
王魁は、父親が取り決めた崔氏と結
婚してしまおう。

王魁が徐州僉判の役職を与えられ
ると、何も知らぬ桂英は「徐州はこ
こから遠くない。きつと迎えの人を
よこしてくれるはず」と、使いの者
に手紙を届けさせた。しかし役所で
裁判を行っていた王魁は、怒って手
紙を受け取るうとさえしなかつた。

(宋)張邦基『侍兒小名錄拾遺』所引『摭遺』

画)莆仙戲「王魁与桂英」

程十發

画



王魁負桂英(王魁、桂英を裏切る)

桂英は「まさか王魁さんがこんな
に薄情な人とは。死んで復讐してや
る」と、刀で首を斬って死んだ。

(宋)張邦基『侍兒小名録拾遺』所引『摭遺』



莆仙戲「王魁与桂英」

王魁負桂英（王魁、桂英を裏切る）

王魁が南都の試院にいと、誰かが蠟燭の明かりの下から出てきた。桂英である。

王魁が「お変わりありませんか」とたずねると、桂英は「あなたが薄情にも誓いを破ったお蔭で、私はこんな姿になってしまいました」といった。

（宋）張邦基『侍見小名録拾遺』所引『摭遺』



莆仙戲「王魁与桂英」

王魁負桂英(王魁、桂英を裏切る)

王魁は「私が悪かった。あなたのために寺に寄進をし、経をあげ、紙銭を焼きます。だから許してください」と許しを乞うた。

しかし、桂英は「私が欲しいのはあなたの命だけ。ほかのことはどうでもいい」といい、王魁はついに殺されてしまった。

(宋)張邦基『侍兒小名録拾遺』所引『摭遺』



莆仙戲「王魁与桂英」





資料映像：越劇「情探」（紹興小百花越劇團）

現代の負心文学

〔解説〕

学歴偏重の伝統を持つ中国社会では、いまも学歴による社会格差や「負心」をテーマとした文学作品が作られている。

その一つに二〇〇七年に放映されたドラマ「愛是一颗幸福的子弹」がある。

しかし、そこには富や地位よりも人間らしく生きようとする若者たちの新たな価値観も反映されている。

二十五集电视连续剧

愛 是一颗
幸福的子弹

LOVE IS A BLESSED BULLET



現代の負心文学

ある町に八人の若い男女が暮らしていた。その一人、江林は早くに両親を失い、社会の最下層で一人寂しく暮らしていた。彼の夢は、帰宅したとき「おかえり」と温かく迎えてくれる家族を持つこと。

そんな彼にひたむきな愛情を捧げる衛鉄民。彼女の夢は、江林の夢をかなえてあげることだった。

中国ドラマ「愛是一颗幸福的子弹」





現代の負心文学

ところが江林はある日、一人の高級幹部の娘と出会う。

「運命を変えたいのなら、私が助けてあげるわ」

高級幹部の娘という後ろ盾を得た江林は、上層社会に這い上がるため、大学受験に向けて猛勉強を始める。

中国ドラマ「愛是一颗幸福的子弹」



現代の負心文学

衛鉄民は江林の突然の変化に不安を抱きながらも、彼が大学に合格できると、毎日彼の家に通い、その暮らしを支える。

中国ドラマ「愛是一颗幸福的子弹」





李山
4

現代の負心文学

しかし大学に合格した江林は、突然衛鉄民に別れを告げ、高級幹部の娘のもとへ去っていく。

中国ドラマ「愛是一颗幸福的子弹」





現代の負心文学

大学卒業後、故郷の銀行で要職を得た江林は、衛鉄民と偶然再会する。

江林が去った後、彼の親友と結婚した彼女は、やがてその夫にも裏切られ、失意の中で暮らしていた。

中国ドラマ 「愛是一颗幸福的子弹」



現代の負心文学

二人の男性に裏切られ、心に深い傷を負った衛鉄民。

江林は彼女がかつて捧げてくれたひたむきな愛情を思い出し、本当に大切なものは何かに気づく。そしてすべてを捨ててやり直したいと、彼女に許しを求める。

中国ドラマ 「愛是一颗幸福的子弹」





まとめ

唐宋変革期を経て、中国社会は貴族の時代から庶民の時代へと姿を変えていく。

科挙は、身分や家柄に関係なく、誰もが官吏となって政治に参画し、富と栄誉を得る機会を保障した。その結果、社会階層の流動性が高まり、教育が普及していった。

一方で、不毛な丸暗記と男性だけに受験資格を与えた科挙は、やがてそこから生まれた問題をテーマとする文学を誕生させた。

宋代、中国に本格的な演劇が誕生すると、科挙で立身出世を遂げた男性が、それまで自分を支えてくれた妻や恋人を裏切るという「負心」をテーマとした作品が続々と登場した。